



## 島根県病院対抗バレーボール大会に参加しました

11月25日(土)に島根県立浜山公園体育館(カミアリーナ)で開催された第86回島根県病院対抗バレーボール大会に参加しました。

当日は、県内の医療機関から男子9チーム、女子8チームの参加があり、熱戦が繰り広げられました。

当院男子チームは予選を勝ち上がり、準決勝では鹿島病院に勝利し、決勝戦に進みました。決勝戦では松江赤十字病院にフルセットの末惜敗し、準優勝をおさめました。女子チームは残念ながら予選敗退となりましたが、大会直前に選手を欠くアクシデントにも見舞われたなか、助っ人メンバーの協力もあり1勝1敗で大会を終えました。

本大会では、当院職員バレーボール部の日頃の練習の成果を発揮するとともに、県内の他の医療機関との交流を深めたいへん有意義な機会となりました。

大会を運営された松江赤十字病院様には、大変お世話になりました。この場を借りて御礼申し上げます。

現在、職員バレーボール部では男女ともに部員を募集しております。ご興味がある方はぜひお問合せください。経験の有無は問いません。

お問い合わせ MEセンター(崎山) TEL:0853-20-2489

MEセンター 臨床工学技士 <sup>さきやま たかや</sup> 崎山 貴也  
(職員バレーボール部男子キャプテン)  
MEセンター 臨床工学技士 <sup>いしとび あかね</sup> 石飛 茜  
(職員バレーボール部女子キャプテン)

戦 績	
男子の部	結果: 準優勝
予選	vs出雲市立総合医療センター(2-0) vs島根県立中央病院(2-0)
決勝トーナメント	vs鹿島病院(2-0) vs松江赤十字病院(1-2)
女子の部	結果: 予選敗退(1勝1敗)
予選	vs加藤病院(2-0) vs松江赤十字病院(0-2)



## 島根大学医学部における研修会・講演会・セミナー開催情報

1月15日~2月14日

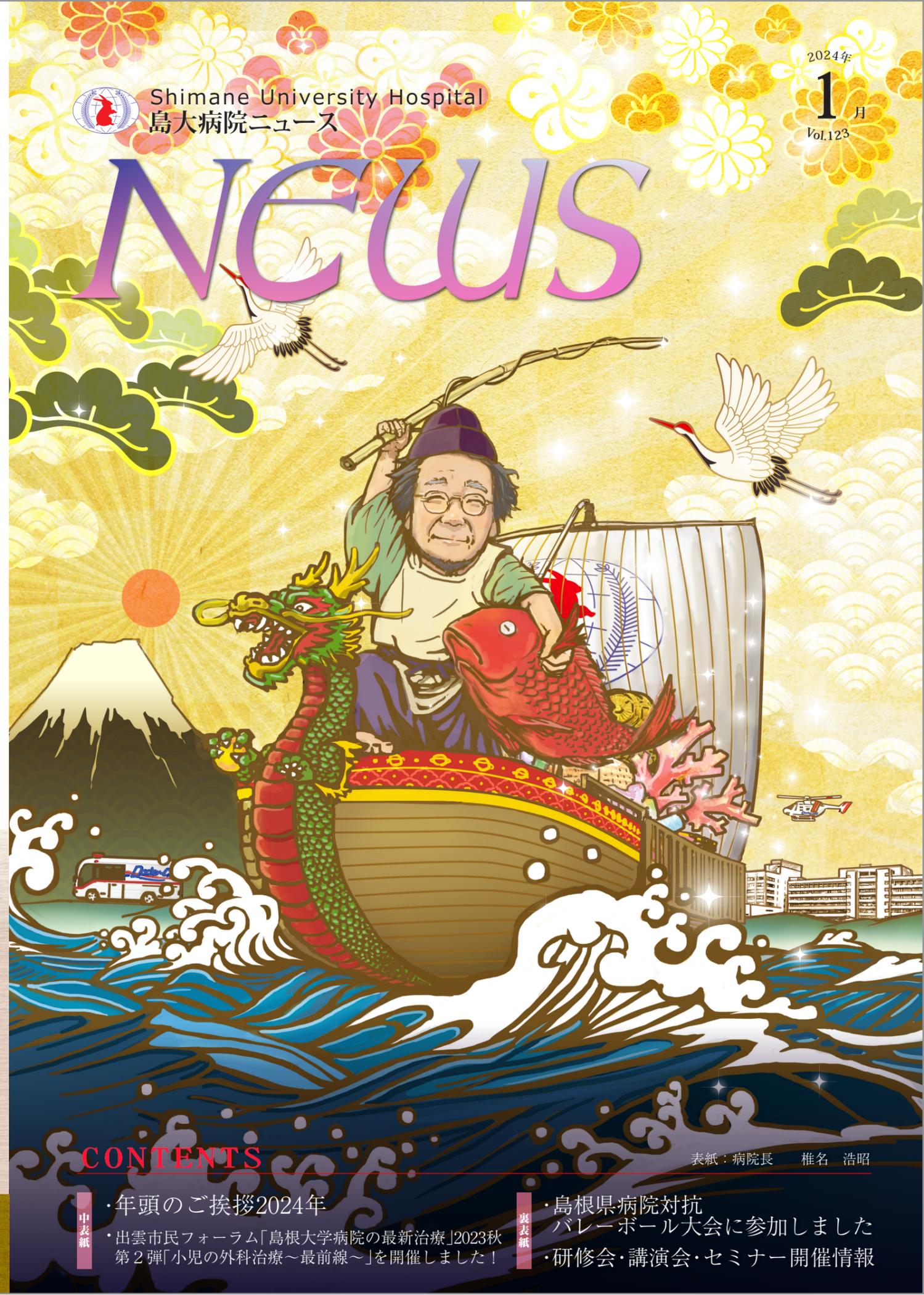
対象者: 一般 一般市民 医療 医療関係者 本学 本学教職員・学生

開催日	開催名	場所(★印 学外開催)	対象者	主催者
12/1(金)~ 2/29(木)	令和5年度 第3回肝臓病教室・家族支援講座	肝疾患相談・支援センター ホームページ上での動画配信	一般 医療	島根大学医学部附属病院 肝疾患相談・支援センター
1/20(土) 13:30-16:30	2023年度 島根県がん診療連携拠点病院 がん看護研修	Zoomによるオンライン開催	医療 本学	島根大学医学部 医療サービス課
1/30(火) 17:30-18:30	2023年度 先進医療に関する講演会	島根大学医学部 臨床小講堂 (オンライン配信)ハイブリッド形式	医療 本学	島根大学医学部附属病院 先進医療管理センター
2/13(火) 17:45-18:45	ゲノム医療法制定の意義と経緯	島根大学医学部 臨床小講堂 (オンライン配信)ハイブリッド形式	医療 本学	島根大学医学部附属病院 がんゲノム医療センター

詳細については、医学部・附属病院ホームページ【研修会・講演会・セミナー】をご覧ください。



# NEWS



## CONTENTS

表紙: 病院長 椎名 浩昭

・年頭のご挨拶2024年

・出雲市民フォーラム「島根大学病院の最新治療」2023秋第2弾「小児の外科治療～最前線～」を開催しました!

・島根県病院対抗バレーボール大会に参加しました  
・研修会・講演会・セミナー開催情報

中表紙

裏表紙



# 年頭のごあいさつ2024

病院長 しいな ひろあき  
椎名 浩昭



あけましておめでとうございます。昨年は当院の運営に関し多大なご支援とご協力を賜り心より感謝申し上げます。コロナ感染症も5類に引き下げられ、以前の日常生活を取り戻しつつあった昨年度ですが、当院では感染防御の観点から引き続き面会等の制限を行わざるを得ず、皆様には混乱とご不便をおかけしましたこととお詫び申し上げます。

さて、本年は、医師の働き方改革の新制度が施行される年となります。地方における医師の働き方改革を混乱なく遂行するために、病院組織として地域医療政策センターを立ち上げ、医師派遣や労働時間を一元的に管理することといたしました。医師・診療科の偏在化が強い地域では、ネットワークを介した医療提供の体制整備が重要となります。地域医療政策センターを中心に島根県行政との連携をもとに、島根県全体を俯瞰したより実践的な医師派遣や多職種連携によるシームレスな医療を地域に提供したいと考えています。

一方、島根創生に資する医療提供を考える時、地域の中核病院として高齢者医療や生活習慣病に対する医療は当院でも力を入れているところではありますが、それ以外の医療も充実させねばなりません。小児医療、移植医療、あるいは緩和医療などは、地域に求められる医療の代表です。少子高齢化が進む島根県ですが、若い世代が安心して定住できる環境を整備することは島根創生に強く関わるため、小児医療の充実是最優先課題と考えています。小児脳神経外科や小児循環器外科を含めた小児外科領域の医療、医療的ケア児に対する医療、児童精神など、多種多様な小児医療の体制を整備することが必要です。一方、移植医療など頻度は少なくとも地域になくてはならない医療も当院で展開する必要があります。先進的で高度な医療の陰に隠れた目立たない医療、しかし地域になくてはならない医療、これらに目を向けることも当院の使命で、病院の総力として島根創生に資する医療提供体制を整備したいと思います。

私たちが目指す医療は人の幸せのために、地域のために尽くす医療です。先進的で精度の高い医療をいち早く取り入れつつ、島根県全体の医療を考えた病院運営を行なって参ります。「安全・安心な最善の医療」を病院の総力として提供し、地域に根ざし信頼される島根大学病院を構築していくところですが、今年もどうかよろしくお願ひ申し上げます。

## 出雲市民フォーラム「島根大学病院の最新治療」2023秋 第2弾「小児の外科治療～最前線～」を開催しました！

総務課企画調査係



11月25日(土)に、島根大学医学部臨床小講堂にて出雲市民フォーラムを開催しました。今回は、当院が注力している小児医療のうち小児外科を取り上げ、小児外科・小児心臓外科・小児脳神経疾患治療センターの各医師が、最前線の治療などについて講演しました。

講演では各講師から、子どもの小さな体の手術がいかに大変かという話や、小児ならではの心くばりや患者さん負担軽減のための工夫、小児医療に対する熱い思いなども聞くことができ、大変有意義な講演会となりました。

今回は、当院に通院中のお子様がおられるご家族の方や、保育園に勤務される看護職の方、医療従事者の方にも多く来場いただき、皆さん熱心に聴講されていました。

講演後のアンケートでは、「これまでは重症な場合は県外の病院へ行っており保護者の負担が大きかったが、島大病院で最先端の医療を受けられることがわかり、孫たちのために希望が持てる」「臍ヘルニアや頭のゆがみのヘルメット治療中の園児を預かっているため、治療の内容などとてもわかりやすく勉強になった」「各先生の技術等のレベルの高さに驚いた」など、たくさんのご意見・ご感想をいただきました。

今後も当院の取り組みや最新治療に関する情報を、市民フォーラムなどを通じて広く発信して参ります。



質疑応答の様子

### 当日の演題

- ①「小児外科って、本当は何をしているの？」 小児外科 講師 久守 孝司
- ②「山陰地方で唯一の小児心臓外科の役割」 小児心臓外科 講師 中田 朋宏
- ③「赤ちゃんとかどものための脳神経外科」 小児脳神経疾患治療センター 准教授 君和田 友美

問い合わせ先 総務課企画調査係 TEL:0853-20-2531



# ご報告

島大病院ニュース 2024年1月

## 2023年度の造血幹細胞移植医療体制整備事業を実施しました

血液内科 助教 高橋 勉 たかはし つとむ



2020年より当院は厚生労働省「造血幹細胞移植医療体制整備事業」における島根県の地域拠点病院に指定されており、血液内科・小児科では島根県内の造血幹細胞移植を担う専門職の育成、病診連携の推進に資する活動を行っています。

今年度は島根県西部の医療従事者に造血幹細胞移植について知識を深めていただく目的で、6月23日(金)に浜田医療センター、12月8日(金)には益田赤十字病院へ当科スタッフが赴いて勉強会を開催しました。

例年10月には県内外の造血幹細胞移植に携わっている医療従事者の技術・知識の向上を目的としたスキルアップwebセミナーを実施しており、今年は10月7日(土)にセミナーを開催しました(写真1)。今回は他診療科でも患者さんが増加している「慢性移植片対宿主病」と、輸血部を中心に行っている「造血幹細胞採取」をテーマに取り上げ、経験豊富な施設の先生方に講演を賜りました。岩手県から沖縄県まで全国から計79名の方が参加され、活発な討議が行われました。セミナー後のアンケートでは、参加された方々から大変勉強になったと高評価をいただきました。

引き続き島根県の血液疾患の診療レベルの維持・向上に努めて参りますので、ご支援をよろしくお願いいたします。

問合せ先 血液内科 事務室 TEL: 0853-20-2308



2024年1月発行  
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会  
問合せ先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課 医療支援(地域医療)担当  
TEL: 0853-20-2068 FAX: 0853-20-2063

◆島根大学医学部附属病院 ホームページ <https://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>



# ご報告

島大病院ニュース 2024年1月

## 新しい取り組み 心不全グリーフカンファレンスについて

循環器内科 医師 田邊 淳也 たなべ じゅんや  
緩和ケアセンター センター長 橋本 龍也 はしもと たつや

心不全の患者さんは、身体的、社会的、精神心理的、スピリチュアルな苦痛といった全人的苦痛を抱えており、これらのあらゆる苦痛を予防し取り除くためには、早期からの多面的アプローチが必要です。

しかし心不全は悪化と改善を繰り返しながら徐々に状態が増悪していくため、急激な変化が起こった時にそれが改善可能な変化であるのかどうかの判断が難しく、これまでがん医療領域を中心に発展してきた緩和ケアをそのまま心不全に適用することは難しいとされています。

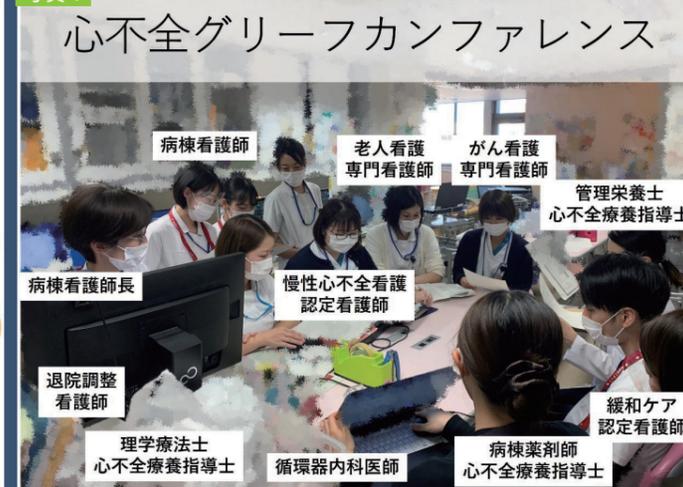
まだ十分なエビデンスがない中ではありますが、当院循環器内科では心不全カンファレンスによる多職種での支援に加えて緩和ケアチームにもご協力いただき、より早期から意思決定支援を含めた心不全緩和ケアに取り組んでいます(図1)。2023年度から心不全グリーフカンファレンスを導入し(写真1)、残念ながら亡くなられた重症心不全や高齢心不全のケースを対象に多職種でのケアの振り返りと経験の共有を行うことで、患者さんにとって最善となる意思決定ができ、かけがえのない時間を自分らしく過ごしていただけるような支援につなげていきたいと考えています。

図1



緩和ケアチームと心不全チームの連携

写真1



心不全グリーフカンファレンスの様子



2024年1月発行  
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会  
問合せ先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課 医療支援(地域医療)担当  
TEL: 0853-20-2068 FAX: 0853-20-2063

◆島根大学医学部附属病院 ホームページ <https://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>





# ご報告

島大病院ニュース 2024年1月



## 出雲キャンパスクリーンデー及び職員による環境整備ボランティア活動の実施について

会計課施設管理室 室長 よねはら まさたか  
米原 昌隆

### 出雲キャンパスクリーンデー

当院では例年、6月と10月に「出雲キャンパスクリーンデー（構内一斉清掃作業）」を実施しています。秋季の諸行事（解剖体慰霊祭、くえびご祭）前に、整然としたキャンパスで来学者をお迎えするために10月13日（金）に第2回出雲キャンパスクリーンデーを実施しました（写真1・2）。

快適な気候の中、約80名の職員が出雲キャンパス内や、当院に隣接した南側道路周辺の除草作業を行いました。

### 職員による環境整備ボランティア活動

10月28日（土）、教職員有志により、本部棟・臨床講義棟・臨床講義棟周辺道路の落ち葉を集積・回収する清掃活動を実施しました（写真3・4）。この周辺には落葉樹が多く、季節柄、落ち葉が降り積もりますが大変すっきりとした景観になりました。

続いて、C病棟5階の屋上庭園にて花苗の植栽を行いました。入院患者さんに喜んで頂けるよう暖かい色合いの花苗を植え、プランターの一部には一冬を越えて花をつけるチューリップを植え付けました（写真5・6）。参加していただいたみなさん、ありがとうございました。

今後も、医学部ならびに当院の美観を維持するボランティア清掃活動にご理解・ご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。

問合せ先 会計課施設管理室 TEL：0853-20-2549



2024年1月発行  
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会  
問合せ先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課 医療支援（地域医療）担当  
TEL：0853-20-2068 FAX：0853-20-2063  
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ <https://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>



# ご報告

島大病院ニュース 2024年1月

## 令和5年度消防訓練を実施しました

会計課施設管理室

当院は、消防法令における特定防火対象物として、年2回以上の消防訓練の実施が義務付けられています。

今年度2回目の消防訓練として、11月28日（火）に出雲市消防本部の協力の下、「令和5年度総合消防訓練」を実施しました。

深夜2時にA病棟7階から出火したとの想定の下、夜勤看護師、当直医師、防災管理センター職員、警備員等の総勢64名が参加し、消防機関への通報と学内の連絡、初期消火並びにストレッチャーや車椅子を用いて仮想入院患者を避難誘導する訓練を行いました。

また、出雲消防署消防隊により、病棟7階ベランダからの放水訓練と患者1名が逃げ遅れたと想定して病棟屋上からはしご車で救助する訓練も行われました。

今回の訓練では、避難誘導は比較的速やかに行うことができた一方、自衛消防組織の伝達が途中でストップする場面もあり、課題は次回に改善を図ります。

訓練終了後の出雲市消防本部からの講評では、出火点を把握して近い患者から先に避難させること、防火区画の外まで避難させることが重要なので意識してほしいとの助言がありました。

今後も訓練を積み重ね、万一の火災における適切な行動につなげたいと思います。

問合せ先 会計課施設管理室 TEL：0853-20-2053



仮想入院患者の避難誘導



出雲消防署消防隊による放水



はしご車による病棟屋上からの救助



2024年1月発行  
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会  
問合せ先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課 医療支援（地域医療）担当  
TEL：0853-20-2068 FAX：0853-20-2063  
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ <https://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>





島大病院ニュース 2024年1月

# ご報告



島大病院ニュース 2024年1月

# ご報告



ミニ講座の様子

## 「いのちの日」に健康講座を開催しました

脳卒中リハビリテーション看護認定看護師  
がん放射線療法看護認定看護師  
がん看護専門看護師

やまね ゆきみ  
山根 由希実  
うたに ともこ  
宇谷 智子  
うえだ ゆきな  
上田 幸奈

12月1日は「いのちの日」とされています。当院では、地域の皆さんと心と体の健康について一緒に考えたいという目的で、健康講座を開催しました。12月に入り冷たい風の吹く中ではありましたが、1階正面玄関ホールには多くの方が集まってくれました。

当日は、「脳卒中ってどんな病気? 詳しく知って予防しよう!!」、「放射線治療ってなあに?」、「緩和ケアについてもっと知ってほしい～自分らしく生活するために～」の内容で3つのミニ講座を行いました。

1時間程度の健康講座でしたが、開始前から集まってくれた方や、受診の合間に立ち寄ってくださった方、熱心にパンフレットを読んでもらっている方など、多くの方に興味をもっていただけました。講演後に「健康には気をつけているつもりで言われたことはできていると思う。他にもできることがあれば知りたい」といったお声がけもしていただき、皆さんの健康に対する意識の高さを感じうれしく思うと同時に、更に詳しい内容を希望されていることも知り今後につなげていきたいと感じました。

当院には多くの専門看護師・認定看護師が在籍しており、それぞれ専門知識を持って活動しています。地域の皆さんの健康を願って、気軽に立ち寄っていただけるような健康講座を今後も実施していきたいと思っています。「こんな話を聞きたい」などご要望等ありましたらお気軽にご相談ください。



ミニ講座担当者

## クリスマスイルミネーション 点灯式を行いました

総務課総務係

当院では、入院中の患者さんに寒い冬の夜を少しでも楽しく温かい気持ちで過ごしていただけるように、毎年、冬の到来とともに庭園をイルミネーションで飾ります。

12月4日(月)、参加者全員の「点灯!」の掛け声と同時にイルミネーションが光り輝き、子どもたちは光の美しさに目を輝かせていました。そして、イルミネーションの光に包まれながら、うさぎ保育所の子どもたちの元気の良い歌声と看護師さん達のハンドベルチームによるクリスマスソングが披露され、澄んだ音色にみんなが耳を傾けました。

イルミネーションは、1月10日(水)まで点灯しております。寒い日が続きますが、キラキラと輝くイルミネーションのように、楽しく過ごせると良いですね。



問合せ先 総務課総務係 TEL: 0853-20-2015

問合せ先 看護部 TEL: 0853-20-2478



2024年1月 発行  
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会  
問合せ先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課 医療支援(地域医療)担当  
TEL: 0853-20-2068 FAX: 0853-20-2063  
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ <https://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>



2024年1月 発行  
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会  
問合せ先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課 医療支援(地域医療)担当  
TEL: 0853-20-2068 FAX: 0853-20-2063  
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ <https://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>





# ご報告

島大病院ニュース 2024年1月



市民公開講座の様子

## 「令和5年度 島根がんピアサポート市民公開講座」を開催しました

がん患者・家族サポートセンター センター長 たむら けんじ 田村 研治  
副センター長 いまおか さおり 今岡 佐織

「がんピアサポーター」は、がん治療体験者が正しい知識を身につけ、自分の体験を活かし“同じ立場”でがん患者・家族の支援をする人です。がん患者・家族サポートセンターでは、島根県と島根県がん相談員実務担当者会と共催し、今年度から来年度にかけて、この「がんピアサポーター」養成研修を実施することになりました。

それに先駆け、がん患者さんだけでなく広く市民の皆様に「がんピアサポート」を知ってもらうことを目的に、市民公開講座『がんになっても一人じゃない、共に支えるがんピアサポート』を12月3日(日)に開催しました。講演では国立がん研究センター東病院の精神腫瘍科長 小川朝生先生より、がんの診断時の不安に対し、医療スタッフによるサポートに加え「体験の専門家」であるピアサポーターのかかわりの重要性についてお話しいただきました。その後、現在活動をされているピアサポーターからの報告もあり、「がんピアサポートの意義」をご参加のみなさんと共有する時間となりました。

この公開講座は島根県内7つの圏域の会場と個人をオンラインで結んで行い、約60名の方にご参加いただきました。

2月から、「島根県がんピアサポーター」養成研修を開催予定です。がんピアサポーターにご興味のあるみなさんにご参加いただければと思います。

詳しくは、当院がん患者・家族サポートセンターホームページに詳細を掲載予定です。

<https://gansapo.2-d.jp/> がん相談支援センターホームページ ▶▶▶▶



問合せ先 **がん患者・家族サポートセンター TEL : 0853-20-2545**



2024年1月 発行  
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会  
問合せ先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課 医療支援(地域医療)担当  
TEL : 0853-20-2068 FAX : 0853-20-2063  
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ <https://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>



# ご報告

島大病院ニュース 2024年1月



収録の様子(左:乳腺センター 角舎 学行副センター長)



島大病院  
**みみより  
ラジオ**  
SHIMANE UNIVERSITY HOSPITAL  
MIMIYORI RADIO

## 「島大病院みみよりラジオ」放送開始について

総務課企画調査係

当院では、地域の皆様に最新の医療情報や当院の取り組みをお知らせするため、2023年10月からラジオ番組の放送を開始しました。月替わりで当院の医師等がラジオパーソナリティとざっくばらんにトークする、約15分間の医療情報番組です。

### これまでの放送・今後の放送予定

- ・10月① 「大動脈瘤」 心臓血管外科 教授 山崎 和裕
- ・10月② 「乳がん」 乳腺センター 副センター長 角舎 学行
- ・11月 「脳卒中」 脳神経外科 教授 林 健太郎
- ・12月 「手術と麻酔」 手術部 部長 二階 哲朗
- ・1月 「新年の抱負」 病院長 椎名 浩昭

これまでの放送では、医師がプロフィールに関するエピソードなども交えながら、ご専門のテーマについて非常にわかりやすくお話しており、楽しくお聞きいただける番組になっています。

2024年新年第一弾は、椎名浩昭病院長が新年の抱負をお話する予定です。

YouTubeにて聞き逃し配信も行っておりますので、ぜひお聞きください!

聞き逃し配信はこちら!

**エフエムいずも♪** 毎月2回 **80.1MHz** **第2・4木曜 17:15~17:30**  
第2木曜[本放送] / 第4木曜[再放送]  
※放送日時が予告なく変更の場合あり ※2024年1月は11(木)・25(木)に放送予定



問合せ先 **総務課企画調査係 TEL : 0853-20-2531**



2024年1月 発行  
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会  
問合せ先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課 医療支援(地域医療)担当  
TEL : 0853-20-2068 FAX : 0853-20-2063  
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ <https://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>





# ご報告

島大病院ニュース 2024年1月



## 塩冶地区文化祭に参加しました

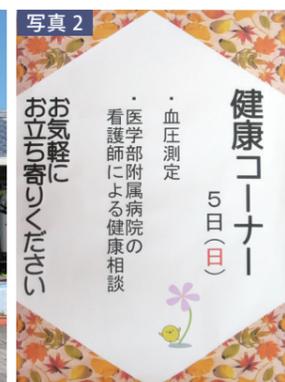
とや えいじ  
鳥谷 英二  
えんどう あつや  
クリティカルケア認定看護師 遠藤 篤也  
さとつ たつや  
クリティカルケア認定看護師 佐藤 達也

11月5日(日)、塩冶コミュニティセンター(写真1)で開催された塩冶地区文化祭に参加しました。ここ数年コロナ禍で中止されていましたが、2023年から再開となり『島根大学医学部附属病院看護師健康コーナー』(写真2)を設置しました。

当日は地域の方をはじめ大変な賑わいで、私たちの健康コーナーのブースには約40名の方が足を運んでくださいました。地域の方と触れ合いながら健康相談や血圧測定を行いました(写真3・4)。日頃から健康に気を使っている方が多く、「血圧が高くならないように食事を工夫している」、「毎日欠かさずウォーキングをしている」などの声が聞かれました。

当院の理念は『地域医療と先進医療が調和する大学病院』です。住み慣れた地域で健康に過ごしていくために、私たち医療者は病院だけでなく地域に根ざした活動をしていくことが大切であると感じました。今後も地域医療に貢献できるよう努力していきたいと思っております。

問合せ先 看護部 TEL: 0853-20-2478



# ご報告

島大病院ニュース 2024年1月



## 出雲医療看護専門学校の学園祭で、もしバナゲーム®の体験会をしました

緩和ケア認定看護師 もりやま みき  
森山 未来  
老人看護専門看護師 ふじえ さとみ  
藤江 さとみ

島根県リソースナース会は、県内の専門看護師・認定看護師で構成され、地域の大学等の学園祭に参加し、専門性を活かした活動を通して社会貢献をしています。

今回、11月18日(土)に大阪滋慶学園出雲医療看護専門学校の学園祭においてACP(Advance Care Planning)※の普及活動の一環として、もしバナゲーム®の体験会を行いました。

もしバナゲーム®とは【人生最期のもしもの時のための話し合いをカードゲームで行うこと】で、自分の価値観や存在意義を考えることができるゲームです。学生や、学園祭に来場された幅広い年齢層の方々がたくさん参加してくださいました。参加者の方からは、「良い人生にするために考えておくべきことに気がつかされた」「いろいろな考え方があり興味深かった」などの声が聞かれました。

『終活』、『エンディングノート』という言葉が社会に浸透し始めています。当院では、入院手続きの時に『事前要望書のご案内』のパンフレットをお渡し、最期まで希望する医療が受けられるための取り組みを行っております。最期の時まで自分の望む医療やケアが受けられるためにも、ACPの啓発活動の推進も私たちの役割であると考えております。

もしバナゲーム®についてご興味のある方は、ぜひお問合せください。

※ACPとは：人生の最終段階で受ける医療やケアなどについて、患者本人と家族などの身近な人、医療従事者などが事前に繰り返し話し合う取り組みです。

問合せ先 看護部 TEL: 0853-20-2478



2024年1月発行  
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会  
問合せ先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課 医療支援(地域医療)担当  
TEL: 0853-20-2068 FAX: 0853-20-2063  
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ <https://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>



2024年1月発行  
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会  
問合せ先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課 医療支援(地域医療)担当  
TEL: 0853-20-2068 FAX: 0853-20-2063  
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ <https://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>





# ご報告

島大病院ニュース 2024年1月



## 血液浄化治療部にて災害訓練を行いました

血液浄化治療部 部長 かんだ たけし 神田 武志  
看護師長 たかた かよ 高田 佳世

血液浄化治療部では、当院の森山詠美子災害看護専門看護師と共に12月7日(木)、血液浄化治療部に特化した災害訓練を行いました。

10月に行われた当院全体の災害訓練を踏まえ、南海トラフを想定して当日は震度6弱の設定としました。看護師が患者さんのベッドサイドから安全確認を報告し、医師が患者さんの状態を確認した後、透析の緊急離脱を決定する訓練を実施しました。

その後の振り返りでは、「フロアの構造により思いどおりの声が出せなかった」、「震度と避難により透析離脱の方法が違って来る」など、実際の訓練により分かることが多くありました。

また、「訓練の課題・目的をもつ」「コマンダーを決める」「職員、現場の安全を確保した上で、患者さんの安全を確保する」「情報を管理する」など、専門的な助言を得てクライシスマネジメントについてより良い方法を考えることができました。

島根県では震度6以上の予測は出されていませんが、透析医学会では国内で震度6強を想定した訓練が推奨されています。今後も訓練を継続し、災害時の対応についてステップアップにつなげて参ります。

問合せ先 血液浄化治療部 TEL: 0853-20-2460



ガラスの飛散を想定しベッドを窓から離す

手回しハンドルによる手動返血指導

森山詠美子CNS

島根県透析医会 災害時情報入力



2024年1月 発行  
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会  
問合せ先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課 医療支援(地域医療)担当  
TEL: 0853-20-2068 FAX: 0853-20-2063  
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ <https://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>



# ご報告

島大病院ニュース 2024年1月

## 内科の魅力向上プロジェクト 「内科が変わる、内科を変える」を開催しました

内科の魅力向上プロジェクト代表 おおしま なおき 大嶋 直樹

11月20日(月)、21日(火)の2日間にわたって、本学内科学講座主催で講演会、パネルディスカッションと内科診療科合同説明会を開催致しました(写真1)。本企画はしまね地域医療支援センターの令和5年度研修・指導体制魅力化事業として、医学生、研修医に県内の内科医療の現状を知ってもらい、未来を担う内科専門医を増やし育てることを目的として行われました。

初日は腎臓内科の神田武志教授、膠原病内科の一瀬邦弘教授より、内科の現状と課題、またオール島根内科専門研修プログラムについての講演がありました(写真2)。続いて「内科のミライを考える」と題して各診療科の指導医、医員、専攻医と一緒にパネルディスカッションを行いました。

翌日は、当院内の食堂において4年ぶりとなる内科診療科合同説明会を開催致しました(写真3)。本会はコロナ禍以前には毎年行われており、この会への参加をきっかけに内科医師を志した方もたくさんおられます。各診療科がブースに分かれて医学生の皆さんと歓談をする時間を設け、その後、診療科ごとにアピールタイムを行いました。二次会では診療科の垣根を越えて医学生、専攻医、診療科長と一緒に交流を深めることが出来ました。

2日間で延べ150名の医学生、内科医師が参加し、大変盛大な会となりました。内科診療科では今後も県内の内科医師確保に向けた取り組みとして一丸となって協力していく所存です。今後ともご理解、ご協力の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

問合せ先 内科学講座内科学第二事務室 TEL: 0853-20-2190



2024年1月 発行  
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会  
問合せ先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課 医療支援(地域医療)担当  
TEL: 0853-20-2068 FAX: 0853-20-2063  
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ <https://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>

